

大地



平成31年度（令和元年度） 全国学力・学習状況調査結果について

校長 菅原 聡

4月18日（木）に実施いたしました「平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査」の結果が道教委から公表され、6学年の保護者の皆様には、過日、お知らせ文書とともに「個人票」を配付いたしました。

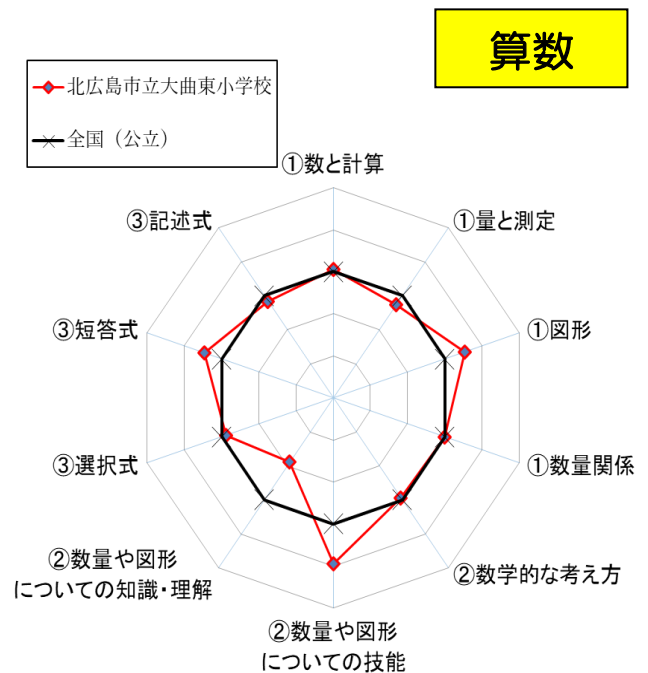
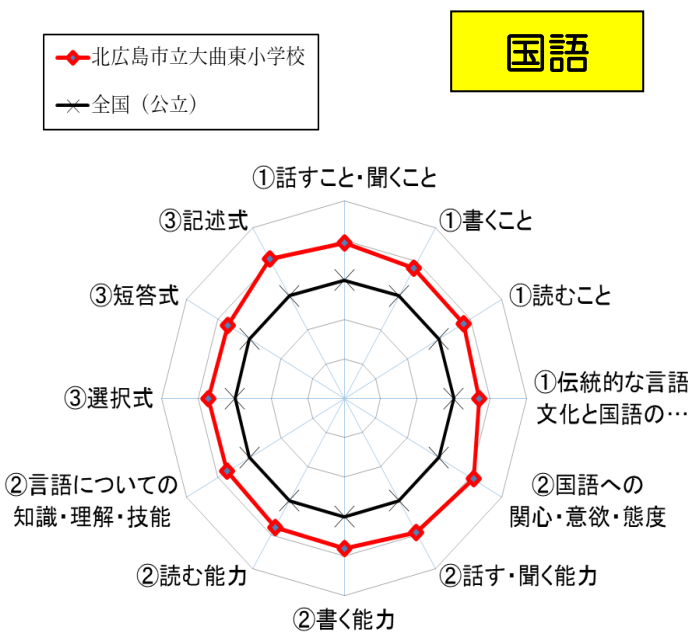
なお、昨年度までは国語A、国語B、算数A、算数Bという教科の区切りでしたが、今年度から国語、算数という教科になりました。学力調査からうかがえる本校におけるおおよその傾向をお知らせします。この結果を真摯に受け止め、今後の本校児童の学力がさらに向上するよう職員一丸となって指導工夫改善に努めて参ります。

なお不明な点がありましたら、学校までお問い合わせください。

【本校の現状と課題】

全国正答率と本校正答率の比較

国語	全国平均正答率と比較し、 高い 状況です。
算数	全国平均正答率と比較し、 同様 な状況です。



全国の平均正答率を100と見て
全国と大曲東小の正答率を比較
しました。

☆国語の結果概要

○正答率が高く、学力の定着が見られた項目

- ・今まで習った漢字の正しい読み書き
- ・話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする
- ・目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む
- ・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる

●誤答が多く、今後補充していきたい項目

- ・文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く
- ・情報を相手にわかりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉える
- ・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読む

☆算数の結果概要

○正答率が高く、学力の定着が見られた項目

- ・加法と乗法の混合した整数と少数の計算をすることができる
- ・図形の性質や構成要素に着目し、他の図形を構成することができる
- ・示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる

●誤答が多く、今後補充していきたい項目

- ・示された除法の式の意味を理解している
- ・場面の状況から単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断できる
- ・示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる

「学学習状況調査（児童質問紙）」における学力向上に関連すると思われる項目

【生活に関連して】

○ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある児童が、かなり増え、全国平均よりも高くなっています。

●学校の決まりを守っている子の割合が、昨年度より増えてはいますが、全国平均よりも低くなっています。

【学習に関連して】

○家で、自分で計画を立てて勉強をしている児童が、昨年度よりもかなり増え、全国の平均よりも高くなっています。

●自分の考えがうまく伝わるよう資料や文章、話の組立などを工夫して発表している児童の割合が全国より低くなっています。

学校全体でこんなとりくみを広げています

勉強しやすくなるような環境にします

- ・朝学習「PUT」を続けます。
- ・学習道具・学習準備・学習中のきまりを徹底します。→「学びの7カ条」
- ・「大曲スタンダード」（あいさつ・返事・立腰・言葉）の定着を強化します。
- ・ノートの使い方（国語・算数）を徹底します。

行きたくなる学校・学級をつくります

- ・各種アンケートを分析し、児童理解と望ましい人間関係の構築、いじめ、不登校の未然防止を図ります。
- ・道徳教育による心をたがやす授業・活動の充実を図り、しっかり見とります。
- ・自己有用感を持たせる関わり方をたくさんします。（褒めて伸ばす）

「小中一貫教育」を磨き、わかりやすい言葉で発信します

- ・大曲中学校と大曲小学校と連携を密にし、9年間の学びをデザインして大曲中学校区での学力向上の実践を検証します。
- ・中学校の先生が小学校で授業をします。
- ・中学校模擬テストを実施します。
- ・『キャリア教育』を深めます。

みんながわかる授業をします

- ・指導方法工夫改善加配や学習支援加配を活かして個に応じた習熟度別少人数指導とチームティーチング、学習支援を進めます。
- ・ICTを活用して視覚に訴える授業を作ります。
- ・「主体的・対話的で深い学び」となる授業を作ります。

・わからない問題を『やりっ放しにしません』

教師力を向上します

- ・「わかった」「できた」「次の課題にも挑戦しよう」を導き出す意欲をかきたてる授業作りをします。
- ・「授業改善推進チームの職員」に授業の進め方を見てもらう等、授業のスキルアップを図ります。

ご家庭・地域と連携します

- ・「小中一貫教育・家庭学習の手引き」等を通して家庭と共通理解を図ります。
- ・毎週の学年通信に「家庭学習のヒント」を明記し、自発的な学習を促します。
- ・HPを小まめに更新し、わかりやすい言葉で発信します。

家庭・保護者の皆様に協力をお願いします

学校で上記のように関わっていきませんが、ご家庭の協力をいただくと子どもたちのまだ見ぬ能力が更に発揮されると思うのです。お願いですが、ご家庭でお子さんに下記のように接していただければ、この上なくありがたいです。

- ① どんな小さなことでも最後までできたら、ほめてあげてください。
- ② 将来の夢を話題にしてください。夢を口に出せば、それは目標に変わります。手に届きやすくなります。
- ③ テレビ、ゲーム、インターネット、スマホ等の時間を減らしてください。全国で深刻な社会問題になっています。
- ④ 約束やきまり、ルールを守ることの大切さを具体的に話してあげてください。
- ⑤ 勉強時間を少しずつ増やしてください。
- ⑥ 学校の話をご家族で聞いてあげてください。
- ⑦ 困っている人を助ける心をふくらませてあげてください。